事業者等向け児童発達支援事業所評価表の集計結果（公表）

公 表 日 2023年12月25日　　アンケート実施期間

事業所名 さわやか愛の家　ひた館　　2023年2月20日～2023年3月17日

対象職員数: 4 名　回収数: 4 名　回収率: 100.0%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善点	改善に向けた具体的な取り組み
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	3		1	人数が多く、スペースが狭いと転倒リスク等が高くなるため、十分なスペースを確保する必要がある。	余分なものを整理整頓し、必要なスペースの確保に努める
	2	職員の配置数は適切であるか		1	3	人員が足りない。支援に入ることができる職員と、児童発達支援管理責任者等、事務作業が必要な職員がいるため今後、児童が増えた場合、職員の確保が必要な場合があると思われる	業務改善を図り、事務作業時間の確保を行っていく。必要に応じてハローワーク等への情報共有を徹底していく
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	1	2	特性のある児童に対して、適切な構造化がされていない。階段がある	基本的には、階段がない1階を使用し、児童が階段を使用することがないように努める。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	1	2	1	業務改善に対し、職員全員で話し合うことができている	継続し、業務改善に努めていく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		4		送迎時に保護者との情報共有は行っているが、具体的な業務改善は行うことができていない	保護者等向け評価表を確認しながら積極的に保護者の意見を業務改善に向けて取り入れていく
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		3	1	評価結果等は公開できていない。ホームページで公開されていない。	保護者向け評価表の結果を事業所のホームページ等で公開していく。管理者に対応してもらう。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	1	外部評価を行っていない。外部評価を知らない。	第三者による外部評価を依頼する
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3		1	会社全体の研修はあるが、事業所内での研修を行っていない。虐待防止等の研修など定期的に行うことができている	継続して研修を行っていく
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で児童発達支援計画を作成しているか	3	1		適宜アセスメントを行い、職員間で話し合いを行ったうえで計画作成することが出来ている	継続して職員間での情報共有を行い、児童発達支援計画の作成に努める
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	1	1	アセスメントツールを知らない。観察を中心としたアセスメントは行うことができている	管理者の対応による。評価方法の見直し、評価ツールの検討を行っていく
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	1	3		職員間で話し合い、具体的な支援内容を設定することができている	今後も、ガイドラインに沿って具体的な支援内容を設定していく

	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	1	3		計画内容について話し合うことが無い。	支援のあり方を学んでいく
適切な支援の提供	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	2		立案する職員が偏る傾向にある。内容についてそのほかの職員は知らない場合がある	立案の方法を検討していく
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1		個々がそれぞれ工夫している	これからも引き続き行って行く
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	1	1	2	個々の様子をみんなで共有していない	これからも引き続き行って行く
	16	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	1	2	1	話し合いが行えない日がある。	午前中の時間を使いながら、出来る限り行っていく
	17	支援終了後には、職員間で必ず、打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	1	2	1	終礼は行っているが、「必ず」支援に関して振り返りを行っているとは限らない。	終礼時に支援の振り返り時間を設ける。
	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1		記録は行っている	検証は時間内にすることは難しい
	19	定期的にモニタリングを行ない、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	1	2	1	モニタリングが初めてで期間も短く、大きな変更はない。	今後も定期的に計画書の見直しを行っていく
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	3	1		管理者、児発管が主に出席している	機能訓練指導員の参加も視野に入れ、多くの意見交換が行える方法を考えていく
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	1		詳細を知らない	地域に少しずつ溶け込んでいく
	22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		1	3	医療的ケア児がいない	利用希望があれば対応を考える
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力機関等との連絡体制を整えているか		1	3	医療的ケア児がいない	同上
	24	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	1		詳細を知らない	幼少期の定型発達について学ぶ。情報共有の期間を検討していく。
	25	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	1		送迎時におこなっている	共通理解を深めていく
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		2	2	研修や助言を受けていない	積極的な情報共有を行っていく

関係機関や保護者との連携	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			4	機会を設けていない	他の園との交流を検討していく
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	2		管理者が参加している	継続していく
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	2	2		送迎時に保護者に支援の様子を伝えている	引き続き保護者との共通理解に努める
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家庭支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		2	2	実施していない	家族支援が行えるように、ペアレントトレーニング等の支援を検討していく
保護者への説明責任等	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	2		2	管理者が中心となり説明を行っている。その他の職員が行う機会はほとんどない。	規定を読む機会を設ける
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	3	1		直接的にこの説明をしていない	児童発達支援ガイドラインの共通理解に努めていく
	33	保護者からの子育ての悩み等に関する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	2		保護者と話をしながら支援を行うことができている	継続して支援を行っていく
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			4	保護者会の提案をしているが、実施されない	保護者会の開催を検討していく
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	1		申し入れに対し、環境調整など、支援の工夫を行うことができている	引き続き対応していく
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	2		ひた館通信を発行し、情報発信をすることができている	引き続き情報発信を行っていく

	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	2	2		注意しているが、時々机の上に個人情報の記載された用紙を置いたままにしてしまうことがある	個人情報の管理に努める
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	2	2		子どもと親の意思疎通の配慮は行うことができていない	子どもと親の意思疎通に配慮して いく
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	3	参加していない	地域貢献を目指していく
	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	1	2	1	地震や洪水など適宜計画をたて、訓練を行うことができている	継続していく
非常時の対応	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2	1	1	地震や洪水など適宜計画をたて、訓練を行うことを予定している。	訓練を行っていく
	42	事前に、予防接種やてんかん発作等子どもの状況を確認しているか		1	3	確認がとれていない	状況確認を徹底していく
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の診断書に基づく対応がされているか	2	1	1	アレルギーの児童が居ない	左記同様
非常時等の対応	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	2		ヒヤリハットを記載する機会が少ない	ヒヤリハットを記載し、情報共有を行っていく
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		2	2	会社全体ではあり、議事録の回覧、研修等はあるが事業所個別でのケースカンファレンスなどは現在事例も無い状況にある。	継続して、研修を受けていく
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		1	3	契約時に説明している。現在、対象者が居ない。今後必要に応じてカンファレンスを実施していく。	保護者に対し、説明を徹底していく